



創樹 87

2023年7月20日発行

 創樹会
SOUJUKAI

五月八日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。三年という長い間、制限のある生活を送ることになりましたが、当初、ここまで続くとは思っていませんでした。私自身、これからどうなるのか見通しが持てず、漠然とした不安を抱えながらの日々でした。

マスクの着用・ソーシャルディスタンスの徹底などによって、今まで当たり前だった遊びや活動にも影響が出ました。マスクをすると顔の大半が隠れてしまい、相手の感情や表情を読み取りにくく、声も届きにくくなります。目だけで通じ合うことは大人でも難しいものです。人との関係を築にくかったり、自分の思いを表現しにくかったり、自分の中に目当てを持ちにくい子どもたちにとって、「伝える」↓「伝わる」ことの心地良さが感じにくくなるのではないかと。また、人と密な関わりが薄れることで、人と共感したり共有する経験が減ってしまうのではないかと。子どもたちと関わる仕事ですが、その関わりを制限されたようで、最初は戸惑いの連続でした。また、感染の影響で休まざるを得ない方、利用を控えられる方も出てきます。職員も感染の影響から自宅待機となる状況も増え、運営面でも気を揉む時期が続きました。

コロナ禍で実感した

〈繋がり〉の大切さ



しかし、このような時期があったからこそ、繋がり支え合うことの大切さを実感できたとも言えます。地域にある事業所同士が繋がっていることの大切さを強く感じることもできました。会議もWebを使った新しいスタイルとなりましたが、離れていてもお互いの状況や工夫していることを伝え合い、助言をもらうことで、コロナ禍でもできる活動や遊びへと繋がりました。

何より、日々、一緒に過ごす子どもたちの楽しそうな姿や笑顔にどれだけ救われたことでしょうか。何度もコロナ禍の影響を受けて閉所し、子どもや保護者をガツカリさせてしまいましたが、その度に励ましの言葉をいただき、コロナ禍でも元気を失わずに過ごせました。この仕事の原点を再認識できたと思います。

先日、「5類」への移行を受けて、久しぶりに親子行事を再開しました。ところがあまりに久しぶりだったため、私たち職員がすっかり感覚を忘れてしまっており、あちこちで戸惑う姿が。取り戻すにはしばらく時間がかかりそうです。しかし、気持ちは前向きです。さあ、次はどんなワクワクすることを企画しようか。この気持ちの変化を何より嬉しく思っています。

多機能型事業所ONE—すてっぷ 松岡 正治



.. ぶちええね

職員インタビュー

福山六方学園／佐々木 かれん

入職のきっかけ

福山六方学園へ実習に来た時、子どもたちと一緒に遊んだり、支援するのが楽しかったというのと、職員の方がとても優しく、いろいろと相談にも乗っていただいたので、「創樹会いいなあ」と思い、就職を決めました。

入ってからの指導体制

「分からないことは何回でも聞いていいよ」と先輩職員が優しく教えてくださったため、「最近どう？」などと聞いてくださるので、とても相談しやすい環境だと思います。

仕事のやりがい

最初は、子どもたちとのやり取りについて「大変だな」と思うことが多かったのですが、関係ができてくると、お互いが理解し合えるので楽しいですし、やりがいを感ずることが出来ます。

大切にしていること

子どもたちとの関係性に悩み、怒ってはかりだった頃、怒るだけではなく、ほめることの大切さを先輩職員から教えて頂きました。子どもたちの良いところを見つけて優しい声掛けをすること、たくさんほめることを心掛けています。すると、子どもたちとの関係も良くなり、楽しく仕事ができるようになりました。

休日の過ごし方

家族みんな旅行が好きなので、家族といろいろな場所に出かけたり、家でYouTubeを見たりしています。

これから挑戦したいこと

子どもたちと一緒に楽しい行事を計画し、開催したいなと思います。まだまだ知らないことが多いので、障がい特性などしっかりと学んでいきたいです。

今後の予定

コロナウイルス蔓延防止のため、各行事開催が未定となっております。



2023年4月1日～2023年6月30日

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ボランティア ・ひのきしん隊 代表 藤井正仁 (計12名)
・福山職業訓練センター 藤本和人 ・有志2名
- ご寄付 ・佐藤和夫/故 佐藤多恵子 ・山本誠宏 ・関係者2名

実習生

- 保育士 4月10日～10日間 穴吹国際みらい専門学校 1名
6月19日～10日間 比治山大学短期大学部 3名

ありがとう
ございました

あとかき

コロナ禍も明け、世の中が活気を取り戻す中、福祉の現場でも、長らく止まっていた時間がちょっとずつ再び動き始めました。閉じたものを開き、交わって遊ぶこと。今、私たちにはそんな楽しみがこれまで以上に求められているのではないかと感じます。(編集スタッフ一同)

■題字:田中 盧雪 ■表紙:村上 多美
■誌面イラスト・文字:内海 卓雄、佐々木 和徳
藤井 正彦、藤井 恵子

発行日：2023年7月20日
発行元：社会福祉法人 創樹会 〒720-0832 広島県福山市水呑町7187番地1
TEL:084-956-0255 FAX:084-956-5749
swc@soujukai-fukuroku.or.jp https://soujukai-fukuroku.or.jp



創樹会Instagram



創樹会webサイト

令和4年度 決算報告

法人単位 資金収支計算書

第一号第一様式					
自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日					
(単位：千円)					
勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	児童福祉事業収入	73,254	78,690	-5,436	
	就労支援事業収入	9,686	9,443	243	
	障害福祉サービス等事業収入	1,220,916	1,224,942	-4,026	
	経常経費寄附金収入	1,433	1,439	-6	
	受取利息配当金収入	4	8	-4	
	その他の収入	21,906	25,176	-3,270	
	事業活動収入計 (1)	1,327,199	1,339,698	-12,499	
	支出				
	人件費支出	963,161	967,358	-4,197	
施設整備等による収支	事業費支出	99,691	101,727	-2,036	
	事務費支出	120,580	119,767	813	
	就労支援事業支出	9,598	9,570	28	
	支払利息支出	1,232	1,234	-2	
	その他の支出	6,420	4,604	1,816	
	事業活動支出計 (2)	1,300,682	1,294,259	-6,423	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	126,517	135,440	-8,923	
	施設整備等補助金収入		1,000		
	固定資産売却収入		250		
	施設整備等収入計 (4)	1,250	1,250	0	
その他の活動による収支	収入				
	設備資金借入金元金償還支出	23,944	23,944	0	
	固定資産取得支出	13,591	13,591	0	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,047	2,046	1	
	施設整備等支出計 (5)	39,582	39,512	70	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-38,332	-38,262	-70	
	積立資産取崩収入	4,930	6,379	-1,449	
	その他の活動収入計 (7)	4,930	6,379	-1,449	
	積立資産支出	67,144	67,454	-310	
	その他の活動による支出	0	15	-15	
繰越活動増減差額	支出				
	その他の活動支出計 (8)	67,144	67,469	-325	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-62,214	-61,090	-1,124	
	予備費支出 (10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	25,971	36,088	-10,117	
	前期未支払資金残高 (12)	495,657	495,657	0	
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	521,628	531,744	-10,117	

法人単位 貸借対照表

第三号第一様式							
令和 5 年 3 月 31 日 現在							
(単位：千円)							
資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	617,913	575,474	42,439	流動負債	173,442	163,329	10,112
現金預金	408,829	379,351	29,477	事業未払金	74,170	66,978	7,192
事業未収金	204,215	193,261	10,954	その他の未払金	365	0	365
未収補助金	1,781	0	1,781	1年以内返済予定設備資金借入金	23,944	23,944	0
貯蔵品	0	760	-760	1年以内返済予定リース債務	1,017	591	426
立替金	194	176	18	預り金	27	465	-438
前払費用	3,316	1,916	1,400	職員預り金	10,782	10,621	161
仮払金	0	10	-10	仮受金	0	166	-166
徴収不能引当金	-422	0	-422	賞与引当金	63,136	60,564	2,572
固定資産	1,402,681	1,385,478	17,202	固定負債	279,223	303,636	-24,413
基本財産	872,420	901,485	-29,064	設備資金借入金	226,215	250,159	-23,944
土地	261,340	261,340	0	リース債務	1,941	1,182	759
建物	611,080	640,144	-29,064	退職給付引当金	51,067	52,295	-1,229
その他の固定資産	530,260	483,994	46,267	負債の部合計	452,664	466,966	-14,301
建物	123,735	132,794	-9,059	純 資 産 の 部			
構築物	3,684	3,827	-142	基本金	253,381	253,381	0
機械及び装置	5,484	6,259	-775	1号基本金	253,381	253,381	0
車輛運搬具	5,534	7,717	-2,183	国庫補助金等特別積立金	328,560	344,244	-15,684
器具及び備品	11,217	13,145	-1,929	その他の積立金	316,139	253,835	62,304
有形リース資産	3,929	1,773	2,156	修繕費積立金	47,568	47,567	1
権利	1,264	1,409	-145	備品等購入積立金	19,035	19,035	0
ソフトウェア	4,784	6,283	-1,499	施設整備積立金	248,136	186,133	62,003
退職給付引当資産	51,067	52,295	-1,229	設備整備等積立金	100	0	100
修繕費積立資産	47,568	47,567	1	工賃変動積立金	1,300	1,100	200
備品等購入積立資産	19,035	19,035	0	次期繰越活動増減差額	669,849	642,527	27,322
施設整備積立資産	248,136	186,133	62,003	(うち当期活動増減差額)	89,626	72,739	16,887
設備整備等積立資産	100	0	100				
工賃変動積立資産	1,300	1,100	200				
差入保証金	1,755	1,740	15	純資産の部合計	1,567,929	1,493,987	73,942
長期前払費用	1,655	2,901	-1,247	負債及び純資産の部合計	2,020,593	1,960,952	59,641
その他の固定資産	14	14	0				
資産の部合計	2,020,593	1,960,952	59,641				

利用者支援に関する勉強会として始まった創樹らいぶらり。その様子は、創樹会のSNSで情報発信しています。当初は、強度行動障がいのある方の支援法について検討することが多かったのですが、回を重ねるにつれ、支援者自身のセルフコントロールや事業所の心理的安全性を保つことなどにも着目し、実践に繋がっています。

最近、私が面白いと感じるのは、課題が複雑で着地点を見つけないものでも、あれこれと意見がでてくるうちに別の角度から少し進んでいたりと、そのあれこれの意見の中に、違う課題の解決策を見つかったりすることです。様々な考え方に新鮮さを覚えます。そのような意見交換も含めて、これまでの三年間の活動から、元気に働くにあたって大切だと感じることをメンバーと選

び、新任職員を対象とした研修を二回試みてみました。「自分の考えを伝えること」をテーマにしましたが、さてさて結果はどうでしょうか。これから、悩みつつ少しずつ歩みを進めていけたらと思います。



本部事務局長 山本由紀子

NEWS

図録『きょうの雑貨』を発行！

全国各地にあるケアの現場で生み出された製品を展示／販売した鞆の津ミュージアムの企画展『きょうの雑貨』の内容をまとめた図録を4月末にようやく発行することができました。本書には、64の事業所から集まった1,000を超える様々な雑貨の情報を収録。現在は、鞆の津ミュージアムの通販サイトをはじめ、独立系書店やいくつかの福祉事業所さまのところで販売していただいています。機会がありましたら、ぜひご覧ください！

鞆の津ミュージアム 津口 在五



図録は鞆の津ミュージアムの通販サイトにて販売中。上記のQRコードよりアクセスください。
tomonotsu.theshop.jp

PICK UP

NHK Eテレ『no art, no life』で
西山友浩さんの回が放送

全国の「表現せずにいられない」アーティストを紹介する番組『no art, no life』の5月28日放送分で、あゆみ苑成人寮・西山友浩さんの文字表現を取り上げていただきました。子どもの頃から文字に強い関心があった西山さん。いまでも毎朝、新聞には目を通し、難読漢字もすぐに読めるほど。かつては、毎日の出来事を独特な文字で日記に綴っていました。文字それぞれの横線や縦線、はねやはらいが重なりあうことで最終的には読めなくなりますが、その代わりに見たことのない不思議なかたちが現れ出るので、これまでもいくつかの展覧会で紹介されてきましたが、今回の放送は、そのユニークな表現をあらためて知っていただける貴重な機会となりました。

津口 在五

〈理事・監事の選任について〉

理事および監事が次のとおり選任されましたのでご報告いたします。
自)2023年6月16日～至)2025年定時評議員会終結の時

- ・理事長 田中 創

・理事 林 誠

・理事 田守 豊

・理事 大村 康己

・理事 林 幸和

・理事 細羽 正樹

・監事 安保 昇

・監事 猪原 巧



〈評議員の一部交代について〉

一身上の都合により、吉原 健様が評議員を辞任され、新たに田口 正造様(現 家族会会長)が選任されました。

〈第三者委員について〉

5月30日(火)に開催された理事会において、苦情解決第三者委員が次のとおり承認されましたのでご報告いたします。

委員氏名：高橋 実様(福山市立大学 教授)
槇本 里子様(福山手をつなぐ育成会 理事長)

前評議員 吉原健様(前福山六方学園家族会会長)と全監事 佐藤多恵子様のご逝去に際し、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、長きにわたり法人運営にご尽力賜りましたこと、関係者一同厚く御礼申し上げます。

令和5年度 各事業所の主な事業計画

サポートセンター ひびきの家

感染症予防の取り組みを継続し、利用者の安心・安全な暮らしの提供に努めます。帰省・外出、行事の実施などを検討し、余暇の充実を図ります。介護や支援の増加に対応するため、障がい特性をあらたに学びつつ、高齢者の心身特性の把握を行っていきます。不具合の出ている空調設備などの大規模な修繕を計画的に進めていきます。

さわらび

今まで縮小・自粛せざるを得なかった季節行事や外出(個別外出)の内容を再検討し、皆さんにとっての「楽しい活動」を再開していきたいと考えています。併せて、活動や日課を見直して、個室の有効利用等も行うなどしながら、効率の良い支援が行えるよう改善していきます。

ふぁんたす

小集団活動を通してチームワークを意識した取り組みを行い、同じ目標を達成する喜びを共有し、支え合う気持ちや仲間意識・社会性を育みます。中高生の児童を対象にした個別での受け入れをはじめ、不登校の状態にある児童の支援も必要に応じて行っていきます。送迎や外出活動のために公用車を運行する場合の安全管理を徹底します。

事務局

事務業務の効率化に向けて、勤怠管理をはじめとするシステムの見直しを進めます。また、固定資産の再取得時期を注視しつつ、計画的な資金積立に向けて情報共有を図ります。また、職員が健康で生き生きと働くことができるよう課題の解消に努め、採用活動においては情報の発信や関係者との連携を密に活動を進めます。

以上の活動を通して、引き続き「障がいのある人たちの人生を支える」を旨とした「嬉しいサービス」提供事業体として法人関係者が一丸となって精進していきます。

あゆみ苑成人寮

新型コロナウイルスは感染症法5類への引き下げとなりますが、重症化する恐れの高い高齢の方も多く、引き続き「持ち込まない」「広げない」対応をとりながらウィズコロナに向けた動きを行っていきます。また、高齢化にともない転倒などの事故が増えており、理学療法士等の専門職を活用した介護予防の機能強化を図ります。

サポートセンター 友の家

利用される方一人一人としっかり向き合い、想いをくみ取りながら意思決定を促す支援を行います。加齢に伴う体調の変化や持病の悪化による不安については、医療機関と密な連携をとって対応していきます。余暇活動支援として月1回開催している「ふうりんの集い」は、感染症対策をとりながら計画を進めていきます。

ONE-すてっぷ

「すてっぷ」では、福山市内における療育の一端を担える存在となるよう小集団の活動を大切にし、子どもの主体性を育んでいきます。「ONE-すてっぷ」では、研修の受講等を通して、発達段階・障害特性・虐待防止などに関する知識や技術を学ぶ機会を作り、スタッフの資質向上を目指します。公用車へセンサー等の設置義務履行、乗降車時の人数確認を行うことで、車内への置き去りが生じない体制作りを行います。

さくら

利用される方の高齢化や重度化にともなって多様化するニーズに対応できる施設づくりを展開しつつ、卸町にある「さくら」と笠岡町の「さをりひろば工房まち」が一緒に事業を行えるよう計画を進めます。それに向けた新施設建設を目標に掲げ、まずは土地を探し求めています。

福山六方学園

保護者・学校・行政・関係機関と、利用児に対する共通理解を目的に密な連携を図ります。高等部3年の利用児の進路の情報を共有し、加齢児として残留しないようスムーズな移行を目指します。ウィズコロナの考えの中で、入所利用児の帰省・外出・面会、また短期入所・日中一時利用児の受入について適切に判断していきます。

サポートセンター かなで

感染症対策を継続実施し、強度行動障がいの方や精神障がいの方を含む若年の利用者の地域の生活の場として支援をしていきます。看護師・医療機関・相談支援事業所との連携を継続し、利用者される方を多角的にとらえたうえで、障がい特性の理解と把握に努め、支援に活かす努力を続けていきます。

ヘルパーステーション あしすと

マスクの着用や会話・飲食について、世間には様々な意見がありますが、外出時に混乱を招かないように、ヘルパーが世間との橋渡し役としての機能を発揮できる体制を作っていきます。また、利用される方の不安をできる限り軽減できるよう、定期的な抗原検査の実施など新型コロナウイルス感染症対策の徹底と感染状況の把握に努めてまいります。

相談支援センター 風ぐるま

サービス利用の調整、生活状況の確認を軸とした計画相談業務、生活上の悩みや不安、生活に必要な支援に対応していく基本相談を中心に業務を行っていきます。定期的なモニタリングの中で日々の関わりを継続していくことにより、サービスを利用されている皆さんにとってセーフティネットの役割・機能を持って行けるようにしていきます。

令和4年度 各事業所の主な事業報告

サポートセンター ひびきの家

新型コロナウイルスのクラスターが8月と2月に発生。職員も罹患しましたが、他事業所の援助を受けて乗り切ることができました。余暇活動は、小規模な行事やドライブなどを限定的に実施。また、高齢利用者さんの骨折、行動障がいの利用者さんによる異物誤飲など、支援の難しさを実感する場面が多々ありました。

さわらび

新型コロナウイルスの影響により、年間で計10日間を閉所することになり、利用者の皆さん・ご家族・関係事業所には大変ご迷惑をお掛けしました。行事・外出等については規模を縮小したうえで、感染対策に配慮しながら、皆さんに楽しんでもらえるような活動をスタッフと一緒に実施しました。

ふぁんたす

新型コロナウイルスの影響で、4月と1月にそれぞれ2日間閉所し、ご迷惑をお掛けしましたが、関係する皆様のご協力があり、事業所内での感染拡大は防ぐことができました。活動の中における運動能力の伸びについて、3項目の数値を計測・考察し、効果的な指導方法の理解を深めることができました。

事務局

法人内いくつかある老朽物件の改築を進めるにあたり資金の積立を実行するため、人件費及び人事考課システムを見直しました。一方で、コロナによる職員所得への影響を緩和するため補助金を財源として、コロナ危険手当や休業補償を支給しました。

あゆみ苑成人寮

利用者・ご家族の皆さんのご協力と職員の努力のもと、何とか新型コロナウイルスのクラスターを起こさずにきておりましたが、11月以降立て続けにクラスターが発生しました。長い期間、皆さんにはご迷惑とご心配をお掛けしましたが、幸いにも重症化された方はおらず、療養解除となりました。

サポートセンター 友の家

新型コロナウイルス感染対策を行ってきたが、8月には6か所のホームで同時に罹患者が発生したため、一時的にお弁当での食事提供を行いました。また、10月には深夜にホーム近隣で起きた住宅火災のため、消防の指示で避難待機することもありました。退避訓練や地域との繋がりを強化する必要性を改めて感じました。

ONE-すてっぷ

すてっぷでは、10人という小集団での療育活動を活かし、イメージを共有して遊ぶ楽しさを重ねました。また、支援ニーズの高い児童のために新たなクラスを編成し、支援の充実を図りました。ONE-すてっぷでは、休日や長期休暇中はニーズに応じた受け入れを行い、安心してすごせる場を提供。また、不登校児の対応を強化して学校と情報を共有し、よりよい支援に繋がるよう取り組みました。

さくら

新型コロナウイルスの影響で8月と12月にクラスターが発生したため、やむを得ず事業所を閉所し、利用される皆様や関係事業所にもご心配とご迷惑を掛けることがありました。また、利用される方の高齢化や重度化に向けた関係者会議を開催し、様々なニーズに対応した支援を行いました。

福山六方学園

高等部卒業の2名は、保護者・学校・行政・関係機関と長期に渡り連携を図ってきたことで、成人施設・グループホームに移行できました。在籍している加齢児1名は、利用者の地元である東広島市の成人施設へ移行予定です。12月には新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しましたが、重症化することなく終息しました。

サポートセンター かなで

12月に1名が新型コロナウイルスに罹患したが、感染拡大には至りませんでした。日中をグループホームで過ごす利用者さんには、自立課題の提供やさわらびの体験利用などで日中活動の充実を図りました。精神障がい・行動障がいの利用者支援に苦慮し、関係各所より助言を受けたが支援につなげられず、年度後半には服薬調整等のため入院する利用者さんがありました。

ヘルパーステーション あしすと

新型コロナウイルスの陽性確認や濃厚接触のため、支援できないことがありましたが、事業を停止することなく、支援を継続しました。支援状況について何度も会議を重ね、支援可能な範囲についてまとめた案内文を利用者される方へ毎月送付しました。

相談支援センター 風ぐるま

市内の研修会や会議についても対面での開催が少しずつ出来るようになり、地域での連携も進めることができるようになりました。しかし、福祉サービスの利用制限や行動制限の影響で思ったような支援状況や生活での楽しみが作れない方もおられる状況は変わらずあったため、基本相談をおこないながら孤立化を防ぐ支援の大切さを感じた1年でした。



ふあんたす

てんぐりかっぱ

昨年と同じく、春休みに千田町にある「てんぐりかっぱ」に遊びに行きました。まだ行ったことがない子どもたちは、どんなところかスタッフに聞いてきて、何日も前から行くのを楽しみにして胸を躍らせていました。何度も来たことがある子も初めて来る子も、手作りの遊具で思いつき体を動かして遊んだり、工具を使って工作をしたりと、日常ではなかなかできない体験を味わっていました。笑顔いっぱいの子どもたちを見ていると、スタッフも幸せな気持ちになりました。

坂本 和隆



福山六方学園

お花見

4月8日にお花見を行いました。福山六方学園の園庭にブルーシートを敷き、みんなでお弁当を食べました。桜はほとんど散ってはいましたが、青空の下、お話をしながら美味しくお弁当を食べていました。

昼食の後は、お菓子のくじ引きをしました。くじを引く前は、どんなお菓子が当たるのか緊張している様子。当たりを引いた子は、みんなより多くのお菓子を貰い大喜びでした。

子ども達の笑顔をたくさん見ることができ、職員も楽しい一日になりました。

佐々木 かれん



さくら

お花見

4月11日、春のイベントを行いました。午前中は、向島の高見山展望台にお花見に行きました。時期が少し遅く、桜はあまり咲いていませんでしたが、桜と瀬戸内海の綺麗な景色を見て、皆さん楽しまれました。

昼食は、カルピ弁当かサンドウィッチかを選択していただき、さくらで食べました。皆さん大きな口をあけて、おいしそうに食べられていました。

午後は、さくらでのど自慢大会を行いました。今回は4名のスタッフが審査員となり、皆さん張り切って歌われていました。少し恥ずかしがってなかなか前に出られない方もおられましたが、最後まで一生懸命な姿を見ることができました。

のど自慢大会を楽しみにされていた方も多く、たくさんの笑顔を見ることができた一日となりました。

荒木 郁海



すてつぷ

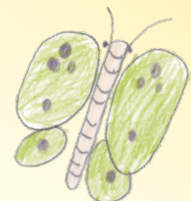
最近のブーム

新年度のスタートから三か月。すてつぷでの生活に慣れた子どもたちと一緒に心躍る体験がしたい、と、近くの川に網を仕掛け、生き物獲りをしました。「でっかい魚が欲しい!」と気合十分に出発進行!仕掛けスポットに到着すると「うんとこしょ。どっこいしょ。」と声と力を合わせて引き上げ開始です。水面から網が顔を出し、少しずつ引き上げられる様子とともに、子どもたちのドキドキとワクワクも盛り上がります。無事に引き上げに成功し、網のなかをよく見てみると「魚が獲れた!」「エビもいるよ!」と大興奮の子どもたちの姿!卸町エリアでも自然に触れて遊べ、大満足です!

秋山 咲



学園の日々



あゆみ苑成人寮男子棟

お食事会

4月20日、あゆみ苑成人寮の利用者の皆さんで食事会を行いました。水呑Cafe Boneuで、ボリュームのある「特製ステーキ&ポヌーチン弁当」を注文しました。普段の昼食とはまた違って、音楽の流れる雰囲気の中、食事を楽しまれていました。

コロナ禍により様々なイベントが行えていませんが、利用者の皆さんが春の陽気を感じながら楽しめた一日になったと思います。

川上 佳也



友の家

お花見

お花見の季節がやってきました。新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきましたが、大勢で集まることは難しく、各ホームごとにお花見を開催しました。その日は、天候にも恵まれ桜も満開。とても心地の良い日差しの中、大きくて豪華なお弁当を食べ、コーヒーを飲みながら、利用者さん・スタッフ共々、色々な話に花を咲かせました。

糸賀 祐太

